



# 3月 定例会

●会期: 2月28日(金)  
～3月19日(水)(20日間)

## 提出議案 26件 審議採決

条例制定1件、条例改正11件、令和6年度一般会計及び特別会計補正予算5件、  
令和7年度一般会計及び特別会計予算7件、その他2件

## 令和7年度施政方針別主な事業予算

単位(万円)  
千円以下非表示

### 1 活力と賑わいに満ちたまちづくり

桑折町地域おこし協力隊委託事業  
新規就農者・後継者育成支援事業  
農地再生・利用集積促進事業  
桑折の魅力彩発見集客販路開拓事業  
空き店舗出店支援事業  
いちい内習室運営事業

3,199万円  
2,000万円  
320万円  
100万円  
125万円  
338万円



地域おこし協力隊



### 3 暮らしと自然が調和した豊かさを実感できるまちづくり

町道(内ノ馬場線・追分下半田線)・水路維持管理  
歴史観光交流センター整備業務  
水道事業基本計画策定業務  
桑折町若者定住促進事業  
住宅用再生可能エネルギー設備設置補助金  
一般廃棄物収集運搬業務

10,000万円  
3,013万円  
1,850万円  
1,410万円  
408万円  
3,359万円



追分下半田線



内ノ馬場線

●会期: 2月28日(金)  
～3月19日(水)(20日間)



健康料理教室

### 4 健康長寿で元気なまちづくり

「ヘルスアップタウンこおり」宣言に基づく健康づくり事業  
「献上桃の郷」おでかけバス利用助成事業  
妊婦・出産ママ交通費助成事業  
保健福祉センター消防用設備自家発電装置交換工事

472万円

1,320万円

72万円

1,700万円

### 5 子どもを大切にするまちづくり

給食費保護者負担軽減事業(幼・小中) 5,794万円  
制服支給事業(幼・小中) 625万円  
子ども家庭センター事業 2,513万円  
子育て支援センター運営業務委託事業 1,196万円  
認定こども園に対する支援事業 29,717万円  
インフルエンザワクチン2回接種助成事業 161万円  
学校のあり方検討事業 42万円  
平和学習派遣事業 71万円  
特別支援教育の充実 4,388万円  
英語教育推進事業(幼・中) 338万円  
AI型教材の導入(中) 16万円



制服贈呈



異文化体験

### 6 交流で絆を育むまちづくり

町制施行70周年記念事業  
「伊達の城」シンポジウム等事業 1,000万円  
半田銀山の歴史 漫画制作事業 77万円  
物置のピアノ上映会 59万円  
こおり宿 楽市・楽座 997万円  
半田山 山開き事業 66万円  
町ホームページリニューアル事業 800万円  
献上桃の郷こおりプロモーション事業 1,811万円



町制70周年ロゴマーク





## 市街化調整区域の制限緩和に

佐藤 武朗 議員

問 空家対策に4点の事業内容で予算が計上。3月15日に「市街化調整区域の住宅再建築、制限緩和」と新聞に掲載された。県は調整区域設定前に建築された住宅の再建築を認める特例措置の最終調整に入った、との報道があつた。空家調査にも関連することから「桑折まちづくりネット」と制限緩和について、今後協議、検討されての取り組みは。

答 新聞に掲載された内容については承知している。宅地の状況である空地は不動産会社等でも取得、建築、売却等が可能になる。タイムリーな報道がなされたものの決定ではない。一日でも早いこの制度が、決定されれば「桑折まちづくりネット」とも、市場に出せる物件等の調査、活用に向け協議を進めたいと考える。

## 一般会計予算

### 討論

賛成	議案	反対
こども園に対する支援については、待機児童を0とし、子育てる親を町はバックアップすべきと考える。また、ホームページのリニューアル・健康増進企画・地域部活動の促進など、元気で活気ある町づくりに期待して賛成する。 70周年行事は町民参加型！昔の町民運動会のように、多くの町民が関わるものとなるよう願う。	羽根田ひとみ 議員	党議員団を代表し、次の理由から反対の討論を行う。 <b>第一</b> 福島蚕糸跡地利活用事業における政策判断の誤りが鮮明になった予算である。 <b>第二</b> 前総合計画や第2期子ども子育て支援事業計画を無視しつつ瑕疵ある事務の連続執行のもとでの事業と予算である。 <b>第三</b> 虚偽公文書作成、虚偽答弁に対する反省がない事業と予算編成である。
総合計画に沿った適切な予算。農業分野では、多くの課題解決の予算が計上、町政施行70周年の各種事業予算、人口減少の歯止めにつながる各種の予算を計上。蚕糸跡地の利活用の最終仕上げとして、幼保連携認定こども園が運営開始。将来を担う乳幼児保育に民間事業者と密なる連携をはかり取り組まれることを期待し賛成とする。	川名 静子 議員	今まで町が保育料差額を負担した約7,994万円を含む町独自の補助金として認定こども園に1億73万円を予算化した。その中に待機0を堅持してもらう名目での任用職員分人件費500万は理解できない。現在78名申し込みに対し保育教諭51名を確保している。2回にわたる覚書にも記載がない。開園後の事は民間が考えるべき事だ。



## 待機児童ゼロのための補助金は

鈴木 隆志 議員

問 保育士確保のための、幼保連携認定こども園向け、補助金が予算計上されている。何を根拠として、町が待機児童向け保育士2名分の雇用が必要として500万円の予算を計上したのか、また、事前協議のうえ文書等取り交わし、町単独補助金として、全額補助金を支給することにしたのかを伺う。

答 幼保連携こども園の運営に関する覚書にある、待機児童ゼロの堅持のため、年度途中の入園希望者に対し、事前に待機児童向け保育士を確保する必要から、町が保育士確保の支援策として補助金支給するもので、予算議決したのち、交付要項を作成し、補助金を交付するので、事前に文書等取り交わすことはしていない。



## 予算は町民のため、実質収支比率の改善を

齊藤 謙 議員

問 類似団体と比較しても、経常収支比率（4年88.9%）、実質収支比率（4年11.5%）が高い数値を示している。早期に各種経済指標を設定し、また、昨年の公会計報告においても、依然としてインフレ整備が改善されていない、インフレ整備は町民の安全・安心を図る上で、最も重要なことである。

答 地域おこし協力隊を活用するべきであると考へる。令和7年度中に事業化する考へがあるものか伺う。

問 商工業分野において、地域おこし協力隊を活用するべきであると考へる。令和7年度中に事業化する考へがあるものか

答 1町3村が合併して70年、その記念として記念誌、式典も含めると約2,600万円となる。メインとなる会場が旧伊達郡役所から役場、イコーゼ！周辺となる。4地区全ての町民と共に祝える事業にすべきと考えるが。

答 70周年の節目に当たり今日まで桑折町を築いて下さった先人に対する感謝と敬意を持っている。この10年は大変な時を過ごしてきた。発行した記念誌から故郷の歴史をご覧いただき来し方に思いを馳せ、今後の育成を皆で考える機会の年、イベントとしていく。

## 全地区町民と共に祝える事業か

川名 静子 議員



# 一般質問 という名の 政策提案

A horizontal row of twelve stylized human figures, each with a different color: blue, purple, pink, orange, yellow, green, grey, light green, light orange, teal, and pink. They are arranged in a line, facing right, representing a diverse community.

※青字は、質問の概要を掲載しています

※各問答は、質問者の責任で作成した原文を掲載しています。問い合わせは、各議員にお願いします。

登壇議員	質問事項
さいとう 斎藤 けん 謙	1 高齢者が安心して暮らせるまちづくり等について ② 身体障がい者が安心して暮らせるまちづくり等について ③ 財政運営等について 4 「桑折町職員の懲戒処分等に関する規則」について 5 総合計画と財政計画について
すずき 鈴木 たかし 隆志	1 酒芳保育所廃止に伴う今後の利活用について ② 町有地、施設の有効活用について ③ 半田公民館の委託管理について 4 歴史文化エリアの中核施設について
はんざわ 半沢 まさやす 正保	① 人口減少を食い止めるための施策について ② 小中学校におけるAI利活用による教育環境整備の課題とその展望について
かわな 川名 しづこ 靜子	1 R7年度予算は前年度予算の検証を活かし町民が安心して暮らせる予算配分となったか 2 住民自治組織の見直しは今後の人口減・高齢者増からも喫緊の課題である考えるが ③ 増え続けている孤立・孤独問題に私達は何をなすべきなのか、自治体が抱える課題は ④ 人材育成、人材確保は人口減少問題と大きく関わってくることから町の対策を伺う。
はねだ 羽根田 ひとみ	1 桑折町出身者との交流会開催について ② リターン移住促進について 3 公共施設の使用料金の見直しについて ④ 多頭飼育崩壊防止対策について
はんざわ 半澤 たかし 高	① 上下水道の現状と維持管理について ② (仮称)福島北風力発電事業について 3 「大かや園」の新風呂カビ対策について 4 小中学校教職員の働き方改革特に業務量の適切な管理について
かわむら 川村 しげみち 滋道	1 桑折町小・中学校のあり方検討委員会関連について ② 文化財保護利活用関連について 3 災害時に開設する避難所と備品について ④ 本町の専門職員の状況について 5 蚕糸跡地利活用事業の事務執行について
さいとう 斎藤 まつお 松夫	① 合併ではなく自立の道を選択してからの20年間の総括について 2 日本被団協ノーベル賞受賞に対する評価と見解について ③ 蚕糸跡地利活用事業の進め方及びそのことに関する答弁(文書回答含む)について 4 小中学校あり方検討について 5 水道事業ビジョン具現化について
おかもと 岡本 たかし 貴士	① 桑折町の町制施行70周年記念事業について ② 東北道のカントリーサインの活用について

一般質問とは、議会で議員が行政（町長や役場など）に対して、町民の关心事や問題点について質問し、その答えを求める制度です。これにより、行政の運営状況を確認し、政策の改善や問題の解決を図ることを目的としています。

補正予算の主な歳入		
項目	補正額	適用
地方創生臨時交付金	3,675万6千円	物価高騰対策重点支援（低所得者世帯支援枠）地方創生臨時交付金
財政調整基金繰入金	442万6千円	補正予算の財源調整分

補正予算の主な歳出		
項目	補正額	適用
議会管理運営費	33万1千円	町議会議員期末手当
職員人件費(一般管理費)	20万6千円	町長・副町長の期間手当・共済組合負担金
住民税非課税世帯等への臨時特別給付事業	3,447万7千円	住民税非課税世帯1世帯当たり3万円の給付
低所得者の子育て世帯への加算給付事業費	227万9千円	住民税非課税世帯等18歳以下の児童1人当たり2万円の加算給付
職員人件費(事務局費)	9万4千円	教育長の期末手当・共済組合負担金
文化財調査費	379万5千円	埋蔵文化財「上ノ台遺跡」の想定範囲内で民間事業者による開発計画があり、試掘調査のため。

# ◆桑折町議会議員の議員報酬、期末手当並用並償用に関する条例の一部改正 ◆桑折町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正

## 内 容

### 町議会議員及び町三役の期末手当支給率を改定するための改正

### 補正予算

既定の予算額に、歳入歳出それぞれ4,118万2

## 一目でわかる 審議結果



## 結果報告のページへ

議案名		討論者
議案第52号	桑折町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
議案第53号	桑折町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	
議案第54号	令和6年度桑折町一般会計補正予算（第6号）	

令和7年第1回桑折町議会定例会

	川村滋道	齋藤松夫	半沢正保	羽根田ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	佐藤武朗	斎藤謙	半澤 高	川名靜子	原 賢志
一般質問者	○	○	○	○	—	○	○	—	○	○	○	—

### ○賛否の分かれた議案

議案名	議員名	川村滋道	齋藤松夫	半沢正保	羽根田ひみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	佐藤武朗	斎藤謙	半澤高	川名靜子	議長	可否
議案第20号 令和7年度桑折町一般会計予算		●	●	○	○	○	○	●	○	●	○	●	—	可決

○：贊成 ●：反対 欠：欠席 □：討論者

○全会一致で可決の議案

議案名	討論者	議案名	討論者
議案第1号 桑折町犯罪被害者等支援条例		議案第15号 令和6年度桑折町一般会計補正予算(第7号)	
議案第2号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例		議案第16号 令和6年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第4号)	
議案第3号 桑折町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例		議案第17号 令和6年度桑折町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	
議案第4号 桑折町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例		議案第18号 令和6年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第4号)	
議案第5号 桑折町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例		議案第19号 令和6年度桑折町半田財産区特別会計補正予算(第1号)	
議案第6号 桑折町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		議案第21号 令和7年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)予算	
議案第7号 桑折町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例		議案第22号 令和7年度桑折町後期高齢者医療特別会計予算	
議案第8号 子ども・子育て支援法施行規則等の一部を改正する内閣府令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例		議案第23号 令和7年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)予算	
議案第9号 桑折町都市公園条例の一部を改正する条例		議案第24号 令和7年度桑折町半田財産区特別会計予算	
議案第10号 桑折町町営住宅条例の一部を改正する条例		議案第25号 令和7年度桑折町下水道事業会計予算	
議案第11号 桑折町給水条例の一部を改正する条例		議案第26号 令和7年度桑折町下水道事業会計予算	
議案第12号 桑折町下水道条例の一部を改正する条例		所掌事務調査報告について	
議案第13号 指定管理者の指定について		閉会中の継続審査の申し出について	
議案第14号 桑折町道路線の廃止について		閉会中の所管及び所掌事務調査の申し出について	

※報告は採決なし



## 答弁 半田地区住民自治協議会が管理

# すず き たか し 鈴木 隆志 議員



しっかりと半田地区自治協議会で管理

問 半田地区自治協議会から半田公民館の委託管理の申し出がなされたが。  
答 半田地区自治協議会に半田公民館を委託管理してもらうための関連経費を令和7年度当初予算に計上した。

問 半田地区自治協議会に半田公民館を委託管理してもうつことの効果は。  
答 教育長 これまで週3日の開館が、週5日に増え、利便性が良くな

り、利用の増加が見込まれ、今までの委託管理の経費よりも安い委託管理料で管理することができるようになつた。

半田地区自治協議会による公民館委託管理について他の3地区の自治協議会に事例紹介する予定は。

桑折町として初めての試みであり、機会を捉え説明し、今後の公民館の管理のあり方の参考にしてもらいたい。

## これも質問

## 質問 未利用の町有地、施設の利活用は

## 答弁 利用状況を確認し利活用していく

問 答 答 答  
釀芳保育所解体跡地の駐車場の利用は  
安全対策上、幼稚園関係者のみの利用と  
仮称歴史観光交流センターの整備計画は  
年度内に基本設計者の選定を進めていく

<p>答 <b>問</b> 民間からの提案を含め今後検討していく。</p>	<p>答 <b>問</b> いので、跡地管理に努めていく。</p>	<p>答 <b>問</b> いので、跡地の利活用は。跡地の利活用は。</p>	<p>答 <b>問</b> いので、跡地の利活用は。跡地の利活用は。</p>
<p>答 <b>問</b> いので、跡地の利活用は。跡地の利活用は。</p>	<p>答 <b>問</b> いので、跡地の利活用は。跡地の利活用は。</p>	<p>答 <b>問</b> いので、跡地の利活用は。跡地の利活用は。</p>	<p>答 <b>問</b> いので、跡地の利活用は。跡地の利活用は。</p>
<p>答 <b>問</b> いので、跡地の利活用は。跡地の利活用は。</p>	<p>答 <b>問</b> いので、跡地の利活用は。跡地の利活用は。</p>	<p>答 <b>問</b> いので、跡地の利活用は。跡地の利活用は。</p>	<p>答 <b>問</b> いので、跡地の利活用は。跡地の利活用は。</p>
<p>答 <b>問</b> いので、跡地の利活用は。跡地の利活用は。</p>	<p>答 <b>問</b> いので、跡地の利活用は。跡地の利活用は。</p>	<p>答 <b>問</b> いので、跡地の利活用は。跡地の利活用は。</p>	<p>答 <b>問</b> いので、跡地の利活用は。跡地の利活用は。</p>

## 質問 高齢者及び身体障がい者への対応徹底

答弁 「桑折町地域福祉計画」に基づき、周知徹底を目指す

# さいとう けん 斎藤 謙 議員



高齢者の孤獨・孤立推進法への対応をどのように行っていくのか。

問 ヘルプマークについては、支援の必要な方への周知と町民への制度理解を促進すべきでないか。

## 質問 経常収支比率・実質収支比率の早期改善を図る

## 答弁 財政指標の数値目標設定は大変難しい

職員の懲罰結果は早期に公表を  
問  
事務ミスは残業時間増加に繋が  
る  
答  
今年度中に公表する

地方財政はますます  
厳しいことが予想され、健全財政の維持継  
続していくためには、財政運営の目指す姿と  
分析視点を常に注視し、類似団体と比較し  
分析をしていく必要がある。

中でも財政分析指標  
である実質収支比率、  
経常収支比率等は特に  
注視すべきで、また公  
会計でのインフラ整備  
である。

問  
町民の為のインフラ整備を促進  
各種施策に基づき進める  
答  
軽微ミスも役職に徹底指導さ  
せる

これも質問

問 職員の懲罰結果は早期に公表を  
答 今年度中に公表する

問 事務ミスは残業時間増加に繋が  
答 せる

問 軽微ミスも役職に徹底指導さ  
答 せる

問 町民の為のインフラ整備を促進  
答 各種施策に基づき進める



## 質問 孤立・孤独対策、町がすべき事は

答弁 ケースに応じ各部署と連携支援を

# 川名 静子 議員

問 若年・中年層・  
高齢者の把握と相談体制は。  
答 町長 本人の申し出、  
民生委員からの情報提供等から把握し、  
スに応じ社福協や県北保健福祉事務所等と連携、日常生活上の相談・支援等にあたる。  
高齢者は地域包括支援センターが相談窓口、  
専門職員が相談に応じ

## 官民連携プラットフォーム（イメージ）

<u>水平的な連携・協働を促進する</u>	
<b>地方公共団体 (行政機関の各部署)</b>	当事者等支援を行う 民間団体
<b>地域住民、地域団体</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>保健・医療・福祉等の専門機関</li><li>社会福祉法人</li><li>社会福祉協議会</li><li>NPO 等</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>町内会</li><li>民生委員・児童委員</li><li>保護司</li><li>ボランティア 等</li></ul>	
<b>民間企業</b>	<b>その他関係団体</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>地域の企業</li><li>商店街</li><li>商工会 等</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>様々な分野の市民活動団体</li><li>生協、農協、漁協、労働者協同組合 等</li></ul>



## 質問 人口減少への危機感と対策を

答弁 将来にわたる持続可能性を追求

# はんざわまさやす 半沢 正保 議員

問 人口減少を食い止めるため、市街化調整区域の規制緩和と民間による宅地造成の推進を！「住宅用地の供給を増やし、若年層や子育て世代の定住を促進するため、市街化調整区域の規制緩和を検討すべきではないか」（事例：高子駅北地区土地区画整理事業217区画）について伺う。

9月に改訂した「桑折町都市計画マスタープラン」に基づき、今後は地区計画制度等を活用し有効利用を図つてまいります。

町長

答

問

人口減に適切に対応するための組織的な取組について伺う。

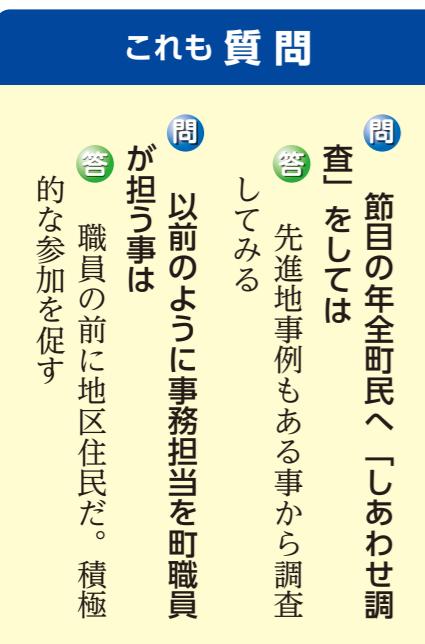
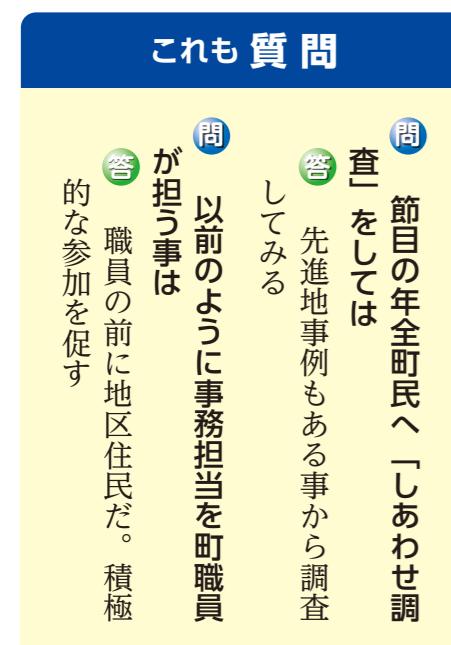
将来にわたる持続可能性を追求していくため総合政策課を中心定期的に政策協議等を実施し、行政評議を行い着実に対策を推進していく。



## 高子駅周辺土地区画整理事業の現場

## 質問 人材確保に繋がる学び直しの場を

## 答弁 知識習得の機会を設けている



## 質問 AI利活用・教育環境の充実を

## 答弁 中学校AIドリルを導入し活用



釀芳中学校

問 **「Aーが仕事を奪う」ではない**  
く、Aーに精通した人が仕事を奪う」と言われるように、Aーリテラシー向上は、これららの社会を生き抜くために不可欠である。小中学校のAー利活用の現状について伺う。また、文科省Aーガイドラインを踏まえ、町教委として、どのような取組を進めていくのかを伺う。

答 教育長 生成AIについては、現在、教育活動においては使用していないが、AIについては主として中学校でAIドリルを各教科で活用し個別最適な学習を進めていく。

AI活用教育については、「安全性を考慮した適正利用」、「個人情報やプライバシー、著作権の保護」等について、教職員はもとより児童生徒に十分に理解させていく。



## 質問 町の上下水道の維持管理は

半澤 高 議員



水道管布設替 耐震管に

問 埼玉県八潮市  
の道路陥没事故や能登半島地震の教訓により町の上下水道の維持管理等について伺う。

答 町長  
(1) 道路陥没事故発生後の緊急点検は実施したのか。  
(2) 水道管の老朽化対策(漏水点検)と耐震化対策は。

問 埼玉県八潮市  
0mm以上かつ1日最大処理量30万m<sup>3</sup>であったので実施していない。なお、「下水道ストックマネジメント計画」の更新は毎年実施している。

答 町長  
(1) 緊急点検については、事故発生後、国から要請があったが、対象管渠が2,000

## 質問 多頭飼育崩壊防止対策を!

羽根田 ひとみ 議員



獣医師による手術

本町で多頭飼育崩壊が助けで33匹の猫の去勢手術を行った。獣医師は12月31日に東京からわざわざ来てくれたのだ。その後2月に「桑折猫の譲渡会」とチラシで告知され、島市内の会場で譲渡会が行われた。今回は愛護団体と獣医師の助けがあつたが、他にもこのようなケースがあるのではないか。飼い主の福祉の面からも町として対策が必要と考える。そこで4点について伺う。

問 ① 多頭飼育崩壊の相談はこれまであったか。  
② 町として去勢手術の補助金の考えはあるか。  
③ 譲渡会開催の際、町は協力できるか。  
④ 多頭飼育崩壊予防の為の広報の考えはあるか。

答 町長  
① 1年に数件ある。  
② 基本的に飼い主の責任で行うものと捉えている。  
③ 協議に応じる  
④ 個人生活の破綻にならぬよう広報する。

## 質問 風力発電所事業に同意するのか

これも質問

答 事業計画には賛成しかねる

問 北風力発電事業  
はHSE株が福島市と桑折町の境界付近の山稜上で進めようとしている事業であり、環境影響評価法による「環境影響評価書」の縦覧が1月24日から2月25日まで実施された。当事業に対する町長の見解はどうか伺う。

答 町長  
(仮称)福島  
北風力発電事業について、県からの意見照会に対しても、野生動物や希少な猛禽類への影響、風車の風切り音やモーター音による騒音、低周波発生や電波障害、景観の悪化などが懸念されることから、事業計画には賛成しかねる旨の回答を提出した。今後、事業者から求められる国有林野の貸付については同意しない方向で対処する。

## 質問 Uターン移住促進を

答 農業補助金があっても選択は難しい

問 進学や就職などを理由とする転出により人口流出があり、それによって一人暮らしの高齢者のサポートや、空き家問題が深刻であると思う。その対策として実家のリフォーム工事に対する補助や、あるいは新築工事の補助でUターン移住者を促進しては如何か。本町では「若者移住者向け補助金」があるが、若

答 町長  
者に限定することはなく、幅広く支援しては。移住地について、進学や就職・結婚などの個人の事情により、本町以外に求められる場合もあり、その地で生活基盤が確立しているとしたならば、たとえ補助金があったとしても、Uターンするという選択肢は難しいと捉えている。



町のチラシ

これも質問  
公共施設の料金について  
次年度改正を検討  
在京桑折会の復活を  
実施は難しい

これも質問  
問 大かや園の新風呂カビ対策その後は  
答 2月下旬に特殊洗浄作業を実施した  
教職員の働き方改革の進捗状況は  
答 今後も超過勤務時間の低減化に努める



# 委員会活動報告

## 総務文教常任委員会

委員長 齊藤謙

当委員会は、「認定こども園の進捗状況に関する」「少子化時代の学校教育のあり方に関する」所管事務調査を行った。

安心できる認定こども園の施設整備等に関する、教育文化課長を委員会に招聘する等、調査してきた。伊達市教育委員会にこれらに関する調査を視察訪問し、確認等の計画をしておりましたが、伊達市側とスケジュールが合わず、実現されなかった。

なお、委員会報告は6月に公表するものとして、所管事務調査結果に関して、各委員の賛同を得た。

## 産業厚生常任委員会

委員長 佐藤武朗



当委員会は、「女性が働きやすいまちづくり」をさらに進めるように12月定例会で調査の申出を行った。理由として、第2期子ども・子育て支援事業計画の進捗と、厚生分野の視点から一時預かり事業の新設についての調査。委員会で、健康福祉課より地域における子育て支援の各主要施策について、施策の概要や5年度実施状況、6年度の取組、及び桑折町の子ども・子育てを取り巻く現状と課題等についての説明、質疑を実施。また、先進地視察の計画をしたが、調整がつかず見送った。4月に開園する認定こども園に、「桑折町こども家庭センターすぐく」の事業を委託することとなり、現在の運営状況について視察実施。当日は、生後1ヶ月から1歳5ヶ月頃までを対象としたベビールームを視察し意見等も伺った。

## 広報広聴常任委員会

委員長 半沢正保

2/16(日)多目的スタジオ イコーゼ！において、第2回議会モニター会議を開催した。「議会だより」をより多くの皆さんに読んでいただけるための方策や若い皆さんに議会に興味・関心を向けていただく方策について話し合いがなされた。詳細につきましては、24・26ページのまとめをご覧ください。

## 議会運営委員会

委員長 半澤高

「一般質問のあり方について」の報告を行った。①、②の2点について調査し、結果の主な点は以下の通りである。

①改選前に「インターネット視聴者にわかりやすい一般質問」をテーマに行った調査の継続。

- 各議員の持ち時間を65分とし議員間で確認したのにもかかわらず時間内に終了できなかった事案があったことは誠に残念極まりない。
- 今後、デジタル化の進展を背景に使用する資料については、大画面モニターやタブレット等に表示可能とし、よりわかりやすい一般質問とするべきである。

②「定例会総括レポート」を経ての一般質問の改善点等の調査。

- 定例会総括レポートには、以前の方式の一般質問に戻してほしい、あるいは以前の方式と現在の方式のどちらかを選ぶ選択制にしてほしいとの要望もあったが、「インターネット視聴者にわかりやすい一般質問」をテーマに進めてきた点を重視し、現在の一問一答制を続けることとした。

なお、今後も定例会総括レポートでとりまとめた意見を議会運営委員会で協議し一般質問のあり方について改善を図っていきたい。

質問 70周年記念誌の編集方針は

答弁 「笑顔」「桑折愛」コンセプトに



岡本 貴士 議員



町制施行70周年を迎えるにあたり、記念事業を通じて町民や訪問者にどのようなメッセージや価値を伝えたいと考えているか伺う。

記念事業については、幾多の困難を克服してきた先人の功績を称えるとともに、町民の皆様と心ひとつに進めてきたまちづくりのなかで生まれた「桑折ならでは」の魅力と特色を次世代に継承し、未来に向かって夢と希望をつなぐ契機としたいと考えている。



町制施行70周年記念誌

記念誌については、先人が紡いできた町の歴史に想いを馳せるとともに、町民の「笑顔」と「桑折愛」をコンセプトに「心ひとつに、花咲け未来」をコンセプトに作製したものである。

70周年記念誌には、桑折町の歴史や住民の思い出が収録されている。その編集方針について伺う。

質問 東北道の桑折町の案内板の現状は

答弁 経年劣化、更新を含め協議したい



東北道(下り)の標識の現状

インは高速道路の案内板や標識である。東北自動車道(下り車線)における本町を示すカントリーサインの現状について所見を伺う。

本により、旧伊達郡役所をデザインした看板を設置いただきおり、本町の認知度向上に一歩み進んでいます。一方、経年劣化により確認している。





# 議会活動状況報告

◀詳しくは、こちらから

令和6年12月11日～令和7年3月19日

月 日	活 動 状 況	内 容	対 象 者
R6.12.16	【福島県町村議会議長会】地方自治研究交流セミナー（第2回）	○高齢者が安心して暮らせるまちづくり政策について	全 議 員
R6.12.19	議会全員協議会	○12月定例会の総括について	全 議 員
R6.12.20	議会全員協議会	○令和6年第7回桑折町議会臨時会の議事日程等について ○提案理由の説明 ○タブレット導入について	全 議 員
R6.12.20	令和6年第7回桑折町議会臨時会	○条例改正2件、補正予算1件審議採決	全 議 員
R7.1.11	町制施行70周年記念式典・祝賀会	○あいさつ	全 議 員
R7.1.12	令和7年桑折町二十歳の成人式	○祝辞	全 議 員
R7.1.22	【福島県町村議会議長会】地方自治研究交流セミナー（最終回）	○公共交通は地域を持続させるためにある一人口減少・高齢者の進展を念頭に	全 議 員
R7.1.26	「第7回文化財防火デー」令和6年度桑折町文化財防火訓練	○訓練観覧	全 議 員
R7.2.28	議会全員協議会	○令和7年第1回桑折町議会定例会の議事日程等について ○提案内容の説明 ○議会運営委員会委員長からの報告 ○令和7年度当初予算説明（議会管理運営費・監査費）について	全 議 員
R7.2.28	令和7年第1回桑折町議会定例会	○会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告・行政報告・町長施政方針・提案理由の説明、補正予算説明、新年度予算総括説明、請願趣旨説明	全 議 員
R7.3.3	議会全員協議会	○令和7年第1回桑折町議会定例会の議事日程等について	全 議 員
R7.3.3	令和7年第1回桑折町議会定例会	○一般質問（5名）	全 議 員
R7.3.4	議会全員協議会	○令和7年第1回桑折町議会定例会の議事日程等について	全 議 員
R7.3.4	令和7年第1回桑折町議会定例会	○一般質問（4名）	全 議 員
R7.3.6	議会全員協議会	○令和7年第1回桑折町議会定例会の議事日程等について ○議会だより 一般質問の原稿等について	全 議 員
R7.3.6	令和7年第1回桑折町議会定例会	○条例制定1件、条例改正11件、その他2件、補正予算5件審議採決	全 議 員
R7.3.7	議会全員協議会	○令和7年第1回桑折町議会定例会の議事日程等について	全 議 員
R7.3.7	令和7年第1回桑折町議会定例会	○施政方針に対する質問 ○新年度予算常任委員会所管別説明	全 議 員
R7.3.11	議会全員協議会	○令和7年第1回桑折町議会定例会の議事日程等について	全 議 員
R7.3.14	議会全員協議会	○令和7年第1回桑折町議会定例会の議事日程等について ○各課主要事業説明書の差替えについて	全 議 員
R7.3.14	令和7年第1回桑折町議会定例会	○新年度一般（特別）会計予算常任委員会所管別質疑（産業厚生常任委員会所管）	全 議 員
R7.3.18	議会全員協議会	○令和7年第1回桑折町議会定例会の議事日程等について ○教育文化課からの補足説明について	全 議 員
R7.3.18	令和7年第1回桑折町議会定例会	○新年度一般会計予算総括質疑 討論採決	全 議 員
R7.3.19	議会全員協議会	○令和7年第1回桑折町議会定例会の議事日程等について ○追加議事日程について	全 議 員
R7.3.19	令和7年第1回桑折町議会定例会	○新年度特別会計予算4件審議採決 ○新年度事業会計予算2件審議採決 ○追加議案審議採決	全 議 員

## 地方自治研究交流セミナー

第3回 ●日時 令和7年1月22日(水) 13:30～15:30 ●場所 川俣町役場3F大会議室

福島県町村議会議長会主催伊達郡町村議会議員（桑折町・国見町・川俣町）を対象にした研修会が開催され12名の議員が参加した。

演題「公共交通は地域を持続させるためにある一人口減少・高齢者の進展を念頭に」のもと講師 国立大学法人福島大学 経済経営学類教授 吉田 樹先生にご講演いただいた。

### ○伊達郡3町における医療／介護需要の予測

3町の医療需要（通院需要）は既にピークアウト。現在は、介護需要の増加が大きくあと10年間は高水準に推移。「高齢者の増加＝公共交通利用者の増加」とはならない。

### ○後期高齢者の自家用車の運転可否による活動機会の格差

自家用車の運転を中止することで、活動の機会が低下するとともに、行きたい場所が減少する。

### ○「与えられた」交通を脱却し、課題解決へ（事例）

- ・地域住民による「くらしの足」の確保、スマイルグリーン号
- ・スクールバスと路線バスの一体再編
- ・タクシーを活用した移動サービス

以上のような、主な項目等について、地域公共交通のあるべき姿について理解を深めることができた。



## 第2回議会モニターセミナーが開催されました

日 時 令和7年2月16日(日) 13:30より

場 所 イコーゼ！キッズランニングコース

参 加 者 ●議会モニター 伊藤和磨 齋藤 忍 齋藤久美子 中田 巧

●議会議長 原 賢志 ●広聴委員長 半沢正保

●広聴委員 齋藤松夫 羽根田ひとみ

内 容

2点について、話し合いが行われた。

1 「議会だより」等へのご感想ならびに、町民の皆さんに広く読んでいただきための方法を提案いただいた。

2 「議会モニタ一年間活動」について、ご感想を述べていただいた。（こちらは最終ページで紹介いたします。）



議会だよりの充実のために、どうすればよいかを話し合っているようす

### 「議会だより」へのご感想

若い人たちが町政に興味をひかれる紙面づくりをめざしてほしい。

各議員の特集ページで考え方や方針などの掲載があれば、熱意や思いが伝わると思う。

選挙の時に掲げた公約が各議員にとって、どの程度達成されたかを掲載してはどうか。

親しみやすさ目新しさを考慮した試みは感じられた。

デザインが明るい色合いになりイラストなどが入ることで親しみやすさがアップした。

子どもたちが政治に関心をもつことができるよう、模擬議会や傍聴など工夫してほしい。

表紙などいろいろ工夫されていると思う。web配信をもっとアピールしてほしい。

広報こおりのようにLINE配信すれば、より身近なものとなり、広く読んでいただけるのでは

子どもの頃から政治への何らかの関わりや関心を持つことが必要だと思う。議会だよりもそのような観点で新しい試みを期待する。

YouTube等簡単に検索し視聴することができれば、もっと興味を持つもらえるのでなおよい。

数字や文字が多くなると読む意欲がなくなってしまう。簡略に表記してほしい。

モニターの意見を積極的に反映し、以前よりはるかに読みやすくなった。たいへんありがたいと感じる。

「議会報告・意見交換会の概要報告」のコーナーは特にわかりやすくまとめられており読みやすかった。

# 令和6年度議会モニターの皆様からいただいた感想

議会モニターの主な活動は、「議会だより」をご覧いただき、ご意見・ご感想を寄せていただくことです。また、議会モニター会議を開催し、意見交換することで、議会への理解を深め、よりよい町にしていこうとするものです。

令和6年度議会モニターの皆様、活動にご参加いただき本当にありがとうございました。  
皆様からのご感想を順不同で掲載いたします。

議会モニターになり以前より町政に関心が持てた。議会だよりが届くと中身もしっかり読むようになり、現在の課題や町施策の状況など理解できるようになった。

意見交換会にも出席し、町民からの質問について時間制限を設定した方がたくさんの方が質問できるのではと思った。

議員全員の方々や議会モニターの方々と交流する機会があったらよかったです。

議会モニター活動を通して、議員のどうしたらもっと議会に関心を持ってもらえるかという思いを感じることができるとともに町政への関心が深まった。

「議会だより」は、議会モニターからの意見を積極的に取り入れ、改善していただけたことが多々あったことに大変うれしく思った。ありがとうございました。

町のことについて、いろいろ思う機会が多くなった。

議会だよりの感想を言うだけだったが議会だよりを読んでもらうために議会も考えていることを感じた。

議会モニターメンバー間や議員との関わりがほとんどなかったので、もっと積極的に関われば良かったと思った。

議会活動に興味を持ち、議会だよりを読んでいくようになりました。今後も継続して桑折町政の動きを注視し関わっていきたい。

## 令和6年度 桑折町議会モニター

佐藤未来 伊藤和磨 山川多美子 佐藤 篤 齋藤 忍 齋藤久美子 中田 巧  
本間英樹 安藤政浩 菅野真仁 以上10名

## 議会報告・意見交換会開催のお知らせ

日 時 令和7年5月25日(日) 第1部 13:30より 第2部 16:00より

場 所 イコーゼ！多目的スタジオ

内 容 ●議会報告ならびに議員のなり手不足調査特別委員会の説明 ●意見交換

## 編集後記

今年、本町は昭和30年1月に1町3村が合併し70周年を迎える多くの記念事業を予定している。・4月下旬 半田山開き・9月 こおり宿樂市・樂座(宿場町として栄えた当時を再現する市の開催と山車の運行)・本町にゆかりのある漫画家「安彦良和」氏描き下ろしの「半田銀山」歴史漫画を編集製本。・「物置のピアノ」再上映等。

町民の皆様と楽しむ企画です！わくわくしますね！奮って参加し楽しみましょう。

昭和～平成～令和と激動の時代は流れ、そして、未来に向かって急速に動いています。本町の未来が輝き、幸せを実感できるまちづくりをすすめ、次世代に繋げていく事が私達の責務ではないかと考える昨今であります。

石幡 政子



●広報広聴常任委員会編集委員会

委員長 半沢正保 副委員長 石幡政子  
委員 齋藤松夫 委員 羽根田ひとみ

こおりまち

議会だより

令和7年5月9日発行

発行 福島県伊達郡桑折町議会  
責任者 原 賢志

編集 議会広報広聴常任委員会

電話 024(582)21113  
印刷 陽光社印刷株式会社